

施策評価シート

1. 基本情報			対象年度（28年度）						
施策コード	123		施策名	文化・芸術・スポーツ活動の支援					
将来像	1	安全でうれしいのある暮らしができるまち（「暮らし」の分野）							
まちづくりの基本目標	12	生きがいを持って文化的に生活できるまち							
主担当部	教育部		主担当課	生涯学習スポーツ課		係	生涯スポーツ係		
担当者	石川 智裕		役職	教育部長		内線	321		
関係課	郷土博物館								

2. 施策の方向			
10年後の姿	市民は自分にあった文化・芸術・スポーツ活動を楽しみながら、健康で心豊かな生活を送っています。また、そのような活動を通して、人と人との交流の広がりや深まりが進んでいます。		
施策の方向性	1	市民文化・芸術の充実と発展をめざします	
	2	誰でも気軽にスポーツ活動に親しめる環境をつくります	

3. 構成事業の状況				(単位:千円)			
No.	事務事業名	実行計画	施策の方向性	担当課	平成27年度決算	平成28年度決算	平成29年度予算
0110050317	特別展事業	対象	1	郷土博物館	646	899	6,924
0110050103	コミュニティプラザ運営管理事業		すべて	生涯学習スポーツ課	45,279	170,902	39,039
0110050104	文化活動振興事業	対象	1	生涯学習スポーツ課	4,026	4,586	4,728
0110050106	文化団体育成事業		1	生涯学習スポーツ課	620	600	600
0110050109	地域市民センター等運営管理事業		すべて	生涯学習スポーツ課	94,340	104,316	89,765
0110050110	清瀬けやきホール運営管理事業	対象	1	生涯学習スポーツ課	70,830	72,588	77,188
0110050701	生涯学習センター運営管理事業		すべて	生涯学習スポーツ課	43,322	45,360	47,239
0110060103	スポーツ推進委員活動事業		2	生涯学習スポーツ課	1,577	1,739	1,761
0110060104	体育等振興事業	対象	2	生涯学習スポーツ課	2,288	1,836	1,807
0110060105	学校体育施設等開放事業		2	生涯学習スポーツ課	40	137	58
0110060106	スポーツ団体育成事業		2	生涯学習スポーツ課	2,044	2,080	2,130
0110060201	体育施設管理事業	対象	2	生涯学習スポーツ課	280,311	146,863	183,557
0103010212	ゲートボール場運営管理事業		2	高齢支援課	2,430	5,923	1,269
総事業費(施策の合計)					547,753	557,829	456,065

4. まちづくり指標									
指標情報					平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成31年度	平成37年度
①	名称	スポーツレクリエーション競技団体数		目標値	—	36	35	35	37
	説明	まなびすと掲載団体数	単位 団体	実績値	34	34			
	抽出方法	2015まなびすより抽出		達成率	—	94.4%			
②	名称	芸術・文化を鑑賞する、または活動を行う団体数		目標値	—	93	93	94	96
	説明	まなびすと掲載団体数	単位 団体	実績値	93	93			
	抽出方法	2015まなびすより抽出		達成率	—	100.0%			

施策評価シート

5. 評価(平成28年度実績に対する)

評価基準		評価※	評価理由
投入財源・成果 (「3. 構成事業の 状況」「4. まちづ くり指標」)に対す る評価	総合評価 (成果、投入財源等を 総合的に評価)	B	構成事業の状況については、施策の方向性1には特別展事業、文化活動振興事業、文化団体育成事業、清瀬けやきホール運営管理事業を、2にはスポーツ推進委員活動事業、体育等振興事業、学校体育施設等開放事業、スポーツ団体育成事業、体育施設管理事業を、1～2の両方には、コミュニティプラザ運営管理事業、地域市民センター等運営管理事業、生涯学習センター運営管理事業がそれぞれ目的達成の手段として構成され、「10年後の姿」を達成するために適当な事務事業が展開されている。 まちづくり指標については、「まなびすと」の登録団体の高齢化により新規加入団体が増えていない。文化・スポーツ等、市民が活動できる場の提供を、文化協会、体育協会、サークル活動団体に掲載を呼び掛ける必要がある。

※A 「10年後の姿」を達成するために、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の達成が十分
B 「10年後の姿」を達成するために、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」に一部課題がある
C 「10年後の姿」を達成するために、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の達成が不十分

6. 施策を取り巻く環境

外部要因	状況	外部要因に対する評価	評価理由
市民ニーズ の状況	高齢者や小・中学生を対象とした市主催の生涯学習講座等に参加する希望が多い。	2.施策遂行に不利	参加者が高齢者や小・中学生のため、市による講座を受講した後に、受講者自らによる主体的な活動につながりづらい。
将来人口 の推移	少子高齢化社会。	3.施策の必要性を高める 2.施策遂行に不利	高齢者の技術等を継承していく機会を創出できる(必要性)。しかし、対象としたい現役世代の参加が難しい。(不利)。
他自治体 との比較	近隣市に比べて整備されたサッカー場がある。	1.施策遂行に役立つ・有利	いろいろな市民団体からサッカー場の利用について希望があり、当該施設を生かした施設展開に役立つため。
民間企業・NPO ・市民の動向	総合型地域スポーツクラブ「清瀬キラリ」という団体が平成28年3月に発足した。	1.施策遂行に役立つ・有利	体育協会やスポーツ推進委員のほか、スポーツ振興に寄与する団体が増える程、市内のスポーツに関する取り組みが活発となるため。
その他	2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けて東京都を中心にスポーツや文化活動を振興する動きがある。(都の補助メニューの提案、スポーツをしていない関心層25%への働きかけの推進)	1.施策遂行に役立つ・有利	2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けてスポーツ・文化活動を推進するのに有利である。

7. 今後の施策課題

No.	今後の施策課題(平成30年度に向けて)	左記課題に関する現在の取組状況
①	サッカー場および運動施設の維持管理。	平成30年度から新しい指定管理期間になるため、新指定管理者には、運動施設の維持管理や貸出方法について提案をいただくように進める。
②	文化・芸術事業の継続的見直し(時代のニーズの確認等)。	長期的に実施している講座については、参加率やニーズの確認を実施したり、講座の切り口(対象者)を変更している。
③	東京2020大会を契機と捉え、スポーツや文化・芸術に関して市民の気運を高める。東京都の取り組みや補助メニューについて積極的に活用を図る。	東京2020大会に関する事業は、東京都の取り組みに参加する形(NO LIMITS CHALLENGEノーリミッツチャレンジ、リオ2016年大会時のライブサイト等)のみとなっている。